

人権と向き合い考える ～人権週間の取組～

本校では、12月10日の「世界人権デー」を含む11月30日～12月11日を入権週間に位置付け、人権を取り上げた道徳の授業実践や、「めぐみ（北朝鮮による拉致問題）」「栗生の園に生きた証（ハンセン病の問題）」等の視聴、人権標語の作成、人権学習講演会の実施等、人権集中学習を行っています。この人権集中学習を通して、人権に関する基礎的な内容や生命を尊重することについて理解を深めるとともに、自分の大切さや他の人の大切さを認め合いながら、身近な人権問題を解決しようとする能力や態度を身に付けることを目的としています。

《人権学習講演会① ～被爆体験伝承講話～》

2年生から5年生を対象とした講演会は、12月4日に、アリーナAを会場とし、2、3年生と4、5年生に分けて行いました。本年度は、広島平和記念館から公益財団法人広島平和文化センターの被爆体験伝承者である細光規江様を講師に招き、被爆者から受け継いだ被爆体験や平和への思いなどについて講演していただきました。細光様は、被爆体験者の話をされる中で、「みなさんは将来大人になってそれぞれ力を持つでしょう。そうした時に力の弱い人の声に、心に寄り添える人になってほしい」とご自身の願いを語りました。まとめとして「私たちには平和をつくる責任がある」「平和のため、自分に何ができるかを考え、考えたら行動してほしい」というメッセージをいただきました。生徒から「これからを担う私たちが後世や世界にしっかりとこの事実を伝えていくべきだと思います」「惨劇は繰り返さないように我々が行動しないといけないと感じました」などの感想が出されていました。



《人権学習講演会② ～DET（障害平等研修）～》

1年生を対象とした講演会は、12月8日に行いました。DET群馬代表の飯島邦敏代表をはじめ、5名のファシリテーターと5名のサポーターを講師に招き、社会にある障害、差別、偏見をなくし、障害者を含むすべての人々が暮らしやすい共生社会の実現に向けて、こころのバリアフリーを目指す「DET（障害平等研修）」を行いました。生徒たちはグループになり「障害とは何か」を話し合い、イラストやビデオを通して障害に対する認識を深め、自分にできることを考えました。生徒から「障害は私たちが見ようとしただけで、周りに沢山あることがわかりました」「社会や環境が変わることで障害者と健常者のどちらもが気持ち良く生活することができると感じました」などの感想が出されていました。



※DETとは、Disability Equality Trainingの頭文字のことです。

◆三者面談 お世話になります◆

来週12月18日（金）～24日（木）に全ての学年で三者面談が行われます（18日は6年生のみ）。面談では、学習への取組等について話題にさせていただきます。お忙しい中かとは存じますが、よろしくお願いいたします。なお、感染症防止対策へのご理解、ご協力をお願いします。また、待機場所が廊下となります。大変冷え込みますので寒さ対策をお願いいたします。

◆お願い◆

過日、生徒を通じて、市教育委員会からの保護者様への通知「新型コロナウイルス感染症に係る警戒度引き上げに伴う対応等について」に下記の内容が述べられておりました。

2 家庭での過ごし方について

- (1) 不要不急の外出を控える。やむを得ず外出する場合には、マスクを着用し、人ごみを避け、帰宅後は手洗い、うがいを徹底する。
- (2) 大人数での会食や大人数での集まりは避ける。
- (3) 家庭においても、換気や手洗い、咳エチケットなどの感染症対策をしっかりと行う。
早寝早起き朝ごはんに努め、生活リズムを整える。

冬休みを迎えるにあたり、改めて、ご家庭における感染症防止対策の徹底へのご協力をお願いいたします。

【寄贈のご紹介】 倉敷紡績株式会社様からマスクの寄贈がありました。ありがとうございました。